

平成22事業年度

決 算 報 告 書

自：平成22年4月 1日

至：平成23年3月31日

国立大学法人九州大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	43,146	43,146	—	
施設整備費補助金	6,543	6,586	43	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	3,591	4,574	984	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	137	107	△30	
自己収入	41,894	44,967	3,073	
授業料、入学料及び検定料収入	11,333	10,835	△497	(注2)
附属病院収入	30,050	33,045	2,994	(注3)
財産処分収入	17	176	159	(注4)
雑収入	494	910	416	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	12,971	14,525	1,555	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	658	595	△62	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	2,097	2,097	(注7)
計	108,940	116,600	7,660	
支出				
業務費	79,255	80,120	864	(注8)
教育研究経費	46,779	45,389	△1,390	
診療経費	32,476	34,731	2,255	
施設整備費	7,338	8,288	950	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	3,591	5,217	1,626	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	12,971	12,370	△600	
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	5,770	5,850	80	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	15	—	△15	
計	108,940	111,846	2,907	
収入－支出	—	4,753	4,753	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が984百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、国費留学生の受入増加及び授業料免除枠の拡大等により、予算額に比して決算額が497百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、診療報酬の改定及び患者数の増加等により、予算額に比して決算額が2,994百万円多額となっています。
- (注4) 財産処分収入については、六本松地区キャンパスの一部を売却したこと等により、予算額に比して決算額が159百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、施設使用料の増収等により、予算額に比して決算額が416百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、外部資金及び寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,555百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階では未承認であった前中期目標期間繰越積立金について計上したことにより、予算額に比して決算額が2,097百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、教育研究環境の充実を目指したキャンパス移転事業等を円滑に推進するための必要経費の捻出を目的として、全学的に経費の節減等に努めた一方、患者数の増加に伴う診療経費の増加等により、予算額に比して決算額が864百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、前年度に受け入れた施設費交付金を財源に移転用地を購入したこと等により、予算額に比して決算額が950百万円多額となっています。
- (注10) (注1) に示した理由及び前年度に受け入れた補助金を財源とした支出の増加等により、予算額に比して決算額が1,626百万円多額となっています。